

平成 26 年 10 月 19 日公開 IT パスポート試験 分析資料

株式会社ウィネット

弊社では、模擬試験ご採用校様の一部並びに弊社教材外部ライティングスタッフの皆様から、公開された試験の出題内容に関するご意見を聴取させていただき、整理及び分析を行いました。今後のご参考として、10月19日に公開された試験（以下、H26秋と表記）の分析をご報告させていただきます。

1. 分野別出題数

分野		H26 秋	H26 春	H25 秋	H25 春	H24 秋	H24 春	
1	ストラテジ系	小問	30	30	27	30	30	29
		中間	4	5	9	5	6	7
		合計	34	35	36	35	36	36
2	マネジメント系	小問	16	20	22	21	22	21
		中間	3	5	3	3	2	4
		合計	19	25	25	24	24	25
3	テクノロジ系	小問	38	34	35	33	32	34
		中間	9	6	4	8	8	5
		合計	47	40	39	41	40	39

- CBT 方式 (H24 年春) から、小問は問 1～問 84 の 84 問、中間 (中間 A～D) は問 85～問 100 の 16 問で構成されています。分野別の出題数は、100 問出題中、ストラテジ系 35 問程度、マネジメント系 20 問程度、テクノロジ系 45 問程度です。
- 前回と比較してセキュリティ分野の出題数が多くなり、100 問出題の中で、テクノロジ系が 7 問多く、ストラテジ系が 1 問、マネジメント系が 6 問少なくなっています。

2. 大分類別出題数

大分類		H26 秋	H26 春	H25 秋	H25 春	H24 秋	H24 春
1	企業と法務	17	17	14	16	17	17
2	経営戦略	10	9	13	12	13	9
3	システム戦略	7	9	9	7	6	10
4	開発技術	4	8	8	9	10	10
5	プロジェクトマネジメント	6	8	8	8	6	8
6	サービスマネジメント	9	9	9	7	8	7
7	基礎理論	3	4	6	7	6	7
8	コンピュータシステム	11	10	9	10	13	8
9	技術要素	33	26	24	24	21	24
合計		100	100	100	100	100	100

- 前回と比較して、2 問以上出題数が増えた大分類は、“技術要素 (+7 問)” でした。
- 前回と比較して、2 問以上出題数が減った大分類は、“開発技術 (-4 問)”、“システム戦略 (-2 問)”、“プロジェクトマネジメント (-2 問)” でした。

3. 中分類別出題数

中分類		H26 秋	H26 春	H25 秋	H25 春	H24 秋	H24 春
1	企業活動	8	8	8	9	9	11
2	法務	9	9	6	7	8	6
3	経営戦略マネジメント	6	5	8	9	7	5
4	技術戦略マネジメント	0	0	1	1	0	0
5	ビジネスインダストリ	4	4	4	2	6	4
6	システム戦略	5	6	6	5	5	5
7	システム企画	2	3	3	2	1	5
8	システム開発技術	3	7	7	8	9	9
9	ソフトウェア開発管理技術	1	1	1	1	1	1
10	プロジェクトマネジメント	6	8	8	8	6	8
11	サービスマネジメント	4	6	6	4	5	4
12	システム監査	5	3	3	3	3	3
13	基礎理論	2	3	5	4	5	3
14	アルゴリズムとプログラミング	1	1	1	3	1	4
15	コンピュータ構成要素	3	2	3	2	4	3
16	システム構成要素	2	2	1	3	3	2
17	ソフトウェア	5	5	4	4	5	4
18	ハードウェア	1	1	1	1	1	0
19	ヒューマンインタフェース	0	2	0	1	0	1
20	マルチメディア	1	2	2	2	4	4
21	データベース	3	4	2	3	3	3
22	ネットワーク	10	6	8	7	6	7
23	セキュリティ	19	12	12	11	8	8
合計		100	100	100	100	100	100

- 前回と比較して、2 問以上出題数が増えた中分類は、“セキュリティ (+7 問)”、“ネットワーク (+4 問)”、“システム監査 (+2 問)” でした。
- 前回と比較して、2 問以上出題数が減った中分類は、“システム開発技術 (-4 問)”、“プロジェクトマネジメント (-2 問)”、“サービスマネジメント (-2 問)”、“ヒューマンインタフェース (-2 問)” でした。

4. 中間 A～D (問 85～問 100)

	テーマ	分野	難易度	コメント
中間 A	ソフトウェアの開発作業	ストラテジ系 1 問 マネジメント系 3 問	普通	アローダイアグラム、費用の累計が理解できれば、解けた問題でした。
中間 B	PC のデータ保護	テクノロジ系 4 問	普通	ESSID の知識、計算や思考では条件を見逃さない注意力が必要な問題でした。
中間 C	テストの採点結果の分析	テクノロジ系 4 問	普通	問 95 と問 96 は標準偏差の説明を正しく読解できれば解けた問題でした。
中間 D	交通費精算業務の改善	ストラテジ系 3 問 テクノロジ系 1 問	やや難	問 99 の表の結合と、問 100 の条件の多い計算は、“やや難” の問題でした。

5. 初めて出題された用語と今後の対策

初めて出題された用語として、特定商取引法 (問 5)、検疫ネットワーク (問 54)、バッファオーバーフロー (問 59)、ペネトレーションテスト (問 62)、WPA2 (問 76)、PoE (問 82) などがあります。

このように、新用語は毎回出題されますが、総合で 60%、各分野で 30%以上得点すれば合格ですので、まずはシラバスの用語を徹底的にマスタし、過去問題及び公開問題で実践力を身に付け、類似問題は 100%正解できるようにする対策が重要になります。